

16th うえだ城下町映画祭



明るすぎる夜は心を壊すから
—花火はよるが暗いから美しい—

この空の
花火

長岡
花火物語

〈県内初上映〉

特別上映



11/10 土

1日目 大林宣彦監督作品

■10:00~16:10

作品上映

■16:20~16:50

トークショー

大林宣彦、大林千茱萸

■17:00~19:40

特別上映

■12:30~12:35

開会式 品田雄吉実行委員長

■14:30~16:30

第10回自主制作映画コンテスト

表彰式・大賞作品上映

品田雄吉実行委員長、大林千茱萸

永井正夫、古舘智之、受賞者

受賞作品上映会(鑑賞無料)

11/10 土 16:30~ 上田文化会館 3階視聴覚室

11/11 日 9:30~ 上田文化会館 3階視聴覚室

11/17 土 13:30~ 上田市マルチメディア情報センター

パネル展示「浦里小学校でのロケ風景」

11/11 日

2日目

■9:30~18:29

作品上映

市内ロケめぐり

■12:30~

※申込受付 当日(11日)12:00~

映画祭受付にて定員(25名)になり次第 締めきります。

パネル展示「浦里小学校でのロケ風景」

チケット料金 (全て税込・未就学児 無料)

11/10 土 ※10日は2部制です

1日目券 一般=800円/前売=500円(前売は9日まで)
高・大学生=300円/中学生以下=200円

特別鑑賞券 一般=1,000円
高・大学生=500円/中学生以下=300円

11/11 日 ※11日は「2日目券」により、出入り自由の見放題です

2日目券 一般=1,800円/前売=1,500円(前売は10日まで)
高・大学生=800円/中学生以下=500円

●インターネットでの申込み
映画祭のホームページから
<http://www.umic.jp/eigasai/index.html>

●チケット取扱い
等光堂 平安堂(上田店、上田しおだ野店、長野店、若柳店、更埴店)
幻灯舎 上田創造館 上田市マルチメディア情報センター
上田文化会館 丸子文化会館 真田中央公民館 武石公民館
上田市教育委員会第二庁舎

●ケータイでのチケット予約はQRコードから



会場=上田文化会館

主催/うえだ城下町映画祭実行委員会

共催/信越放送 文化庁 東京国立近代美術館フィルムセンター 協賛/株式会社衛星劇場 特別協賛/信州ハム 株式会社

後援/上田地域広域連合 上田商工会議所 社会福祉法人上田市社会福祉協議会 上田観光コンベンション協会

信州地域デジタルアーカイブ研究会 一般社団法人長野県情報サービス振興協会東信支部 上田市文化芸術協会 社団法人上田青年会議所

上田商業21世紀会 上田市ホテル協会 東京上田会 公益財団法人八十二文化財団 上田婦人団体連絡協議会 女と男うえだ市民の会

上田市連合婦人会 J R東日本上田駅 しのの鉄道株式会社 上田交通株式会社 信濃毎日新聞社 信州民報社 東信ジャーナル社 週刊上田新聞社

上田ケーブルビジョン 丸子テレビ放送 信州大学繊維学部 長野大学 上田女子短期大学 長野県工科短期大学

協力/(株)セム・コーポレーション (株)オーエムシー

問合せ/うえだ城下町映画祭実行委員会(事務局)/上田市教育委員会 文化振興課 TEL: 0268-23-6361 (土・日・祝を除く 9時~17時) 当日: 080-3362-6693 (9時~18時)

E-mail: eigasai-jimukyoku@city.ueda.nagano.jp HP: <http://www.umic.jp/eigasai/index.html>

淀川長治物語・神戸篇 サイナラ



浦里小学校ロケ作品
2000年 製作：武市プロダクション・PSC
監督：大林宣彦
出演：厚木祐郎 勝野洋輔 秋吉久美子 柄本明
ガダルカナル・タカ ミッキー・カーチス
勝野雅奈恵 根岸季衣 高橋かおり
宮崎あおい

神戸で芸者置屋「淀川屋」の跡取りとして生まれた淀川長治。4歳の時に観た活動写真がきっかけで、小学生になるとひとりで小屋へ通うようになり、活動が生活の一部になるほど夢中になっていく。

HOUSE ハウス



1977年 製作：東宝映像
監督：大林宣彦
出演：池上季実子 大場久美子 松原愛
神保美喜 佐藤美恵子 宮子昌代
田中エリ子 尾崎紀世彦 笹沢左保
小林亜星 鰐淵晴子 南田洋子

高校生のオシャレは、今日も仲間たちと楽しみな夏休みの話。ところが学校から帰ると、イタリアから帰ってきた父が、再婚相手を連れてきた。ショックを受けた彼女は、その時ふと思いだしたオバチャマの羽白郎に仲間たちと出かけたのだった。

この空の花 長岡花火物語



2012年 製作：「長岡映画」製作委員会・PSC
監督：大林宣彦
出演：松雪泰子 高嶋政宏 原田夏希 猪股南
寺島咲 寛利夫 笹野高史 石川浩司
尾美としり 草刈正雄 柄本明
富司純子

天草の地方紙記者の玲子は、かつての恋人健一からふいに届いた手紙をきっかけに、中越地震の体験を経て東日本大震災に於いていち早く被災者を受け入れた長岡市を見詰めることになる。



©「長岡映画」製作委員会・PSC

ステキな金縛り



2011年 製作：フジテレビ・東宝
監督：三谷幸喜
出演：深津絵里 西田敏行 阿部寛 竹内結子
浅野忠信 中井貴一 草薙剛 市村正親

仕事の失敗続きで後がない三流弁護士のエミ。新しく担当になったのは、とある殺人事件。被告人は無実を主張していて完璧なアリバイがあるという。だが、そのアリバイというのが、旅館の一室での金縛りだというのだ。被告の無実を証明できるのは一晩中彼にのしかかっていた落武者の幽霊だけだった。

羅生門



1950年 製作：大映
監督：黒澤明
出演：三船敏郎 森雅之 金沢武弘 京マチ子
志村喬 千秋実 上田吉二郎 加東大介
本間文子

平安時代の森。藪の中で昼寝をしていた盗賊の多襄丸は、通りかかった侍夫婦の妻に目を付けた。多襄丸は夫をだまして縛り上げ、彼の目の前で妻を犯してしまう。現場には夫の死体が残され、妻と多襄丸は消えていた。やがて捕まった多襄丸だったが、関わった人間の証言は、みな食い違っていた。

一枚のハガキ



2011年 製作：近代映画協会
監督：新藤兼人
出演：豊川悦司 大竹しのぶ 六平直政
大杉漣 柄本明 倍賞美津子 津川雅彦
大地泰仁 川上麻衣子

太平洋戦争末期、100人の中年兵は、上官のくじでそれぞれ戦地に赴くことになる。松山は仲間の森川から彼の妻のハガキを手渡され、もし生き残ったらハガキを持って森川の家を訪ね、そのハガキを読んだことを伝えてくれと頼まれたのだった。

キツツキと雨



2012年 製作：「キツツキと雨」製作委員会
監督：沖田修一
出演：役所広司 小栗旬 高良健吾
白田あさ美 古館寛治 嶋田久作
平田満 伊武雅刀 山崎努

定職にも就かぬ息子とふたりぐらしの岸克彦は、山奥の村で木々を伐採して生計を立てていた。ある日岸は溝にはまって立ち往生している車の2人に会う。それはゾンビ映画の撮影で村にやってきた、映画監督の田辺と鳥居だった。

●スケジュール

1日目 大林宣彦監督作品

10:00~11:46	淀川長治物語・神戸篇 サイナラ
12:30~12:35	開会式
12:35~14:03	HOUSE ハウス
14:10~16:10	自主制作映画コンテスト表彰式
16:20~16:50	トークショー —映画永遠?—
17:00~19:40	〈特別上映〉 この空の花 長岡花火物語

2日目

9:30~11:52	ステキな金縛り
12:45~14:13	羅生門
14:20~16:14	一枚のハガキ
16:20~18:29	キツツキと雨

●ゲスト



大林宣彦 (映画作家)

1938年広島県尾道市生まれ。3歳の時に自宅の納戸で出合った活動写真機で、個人映画の製作を始める。上京後、16mmフィルムによる自主製作映画『EMOTION=伝説の午後・いつか見たドラキュラ』が、画廊・ホール・大学を中心に上映されジャーナリズムで高い評価を得る。『喰へた人』(63)はベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。この頃からテレビコマーシャルの草創期に本格的に関わり始め、チャールズ・ブロンソンの『マダム』、ソフィア・ローレン、カトリヌ・ドヌーヴなど外国人スターを多数起用。その数は2000本を超える。1977年『HOUSE/ハウス』で商業映画にも進出。同年の『瞳の中の訪問者』と共に『ブルーリボン新人賞』を受賞。故郷で撮影された『転校生』(82)『時をかける少女』(83)『さびしんぼう』(85)は『尾道三部作』と称され親しまれている。『異人たちの夏』(88)で『毎日映画コンクール監督賞』、『北京的西瓜』(89)で『山路ふみ子監督賞』、『ふたり』(91)で『アメリカ・ファンタスティックサターン賞』、『青春デンデケデケデ』(92)で『平成4年度文化庁優秀映画作品賞』、『S.A.D.A.』で『ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞』、宮部みゆき原作『理由』(04)で『日本映画批評家大賞・監督賞』、『藤本真奨励賞』を受賞。2011年3月11日を受けた最新作『この空の花 長岡花火物語』は2012年全国順次公開。2004年春の紫綬褒章受章、2009年秋の旭日小綬章受章。



うたの城下町映画祭実行委員長 映画評論家 品田雄吉

1930年北海道生まれ。北海道大学卒業後、映画雑誌『キネマ旬報』編集部、『映画批評』編集長を経て、1965年よりフリーの映画評論家。執筆活動、テレビ出演の他、各大学の教授・学部長等を歴任。国際映画祭の審査員も多数務める。



総合司会 フリーアナウンサー 大岩堅一

1958年、千葉県生まれ。1980年、大阪・朝日放送入社。主に、ラジオの深夜放送・音楽番組、テレビのパラエティーなどを担当。1988年、F.M長野に入社。2006年4月よりフリーとして活動。現在、F.M長野「ミドルエイズ・コンシャス〜土曜アメニティ」、SBCラジオ「YOUスタ深志3丁目」(月・火・木曜4時〜4時30分)に出演中。「おやじバンド・フェスティバル」(長野市)総合司会。

大林千茱萸 おおばやしちぐみ

映画思想家、映画音楽プロデューサー。1964年東京生まれ。5歳頃から映画館にひとりで通い始め、12歳で父である大林宣彦作品『HOUSE』(77)の原案を担当。“小学生の原作者”として話題となる。16歳頃から映画についての執筆活動を開始。現在は雑誌・新聞・テレビ・WEB・イベント・講演など多方面で活躍中。また、昭和天皇最後の料理番であった故・渡辺誠に師事。フランス料理とマナー教室を主宰。



上田文化会館は上田駅より徒歩20分
「上田駅前(お城口)にタクシー乗り場あり」

・上田文化会館斜め向いの「健康プラザうたの」の駐車場、又は図書館横の総合駐車場をお使いください。ただし、22時には閉鎖します。
・合同庁舎駐車場は21時に閉鎖します。それ以降の出入りが出来なくなりますので、ご注意ください。

●この秋、県内で3つの映画祭が開催されます。うたの城下町映画祭のチケットの半券持参で各映画祭が前売料金で当日入場できます。